

佐賀大学地域デザイン研究科について

地域デザイン研究科の教育研究上の理念・目的

本研究科は、芸術、フィールドデザインそして経済・経営の三方向からのアプローチにより、地域創生をリードできる人材養成を教育研究上の目的としています。

なお、本研究科の「フィールドデザイン」とは、従来の自然環境的、あるいは工学的なフィールドデザインではなく、文理を融合させた、すなわち芸術、文化財保護、都市地理学、都市デザインのそれぞれの知識とスキルをつかって、地域にあるさまざまな資源に芸術文化と経済・経営の光をあて、あらたな資源の活用法を見出し、地域の間（フィールド）をデザインしていくフィールドデザインです。

① モノづくり×コトづくり

地域社会の活力を維持していくために、高い技術力によって品質の良い「ものづくり」つまり価値化とともに価値あるモノを繋ぎ価値ある「コトづくり」が求められています。これらのことも本研究科の教育研究の対象です。

② 地域に豊かな生活の場を創出する「地域デザインとマネジメント」

地域資源を活用・再生し、そこに新たな付加価値を生み出し、人とものをあつめ、そこに雇用を創出し定住したいと思える地域をデザイン・マネジメントしていきます。

③ 地域を世界に開く「ブリッジ人材」の育成

地域の文化・経済と他国の地域の文化・経済を架橋し、相互に発展させることができるような高度な教養と外国語を含むコミュにケーション能力を持った人材を養成し、地域社会を世界に開きます。

④ 地域創生につながる「社会人リカレント教育」

複雑に変化していく地域の問題に取り組む企業人や自治体職員に対して、時代の動きに即した高度の教育研究の場を提供します。企業人に対しては企業経営にこれまでの経済学とは異なる視点をもたらす教育研究の場を、自治体職員に対しては文化を活用した地域振興に資する教育研究の場を提供します。

地域デザイン研究科の専攻とコース

地域デザイン研究科では、高度な専門的知識・スキルを有し、芸術文化と経済経営の複眼的視点から地域創生をリードする自律した専門的職業人を養成します。

地域の再生とイノベーションに貢献できる人材の養成のために、「芸術」、「フィールドデザイン」、「経済・経営」の3つの専門分野からのアプローチをとり、この3分野が協働的に教育研究する研究科として設置しました。

専攻は地域デザイン専攻の1専攻とし、専攻内には、学生の教育研究の専門性に一定の方向と方針をもたせるために2つのコース、「芸術デザインコース」と「地域マネジメントコース」を設けています。

研究科、専攻等の名称及び学位の名称

研究科名

地域デザイン研究科 (Graduate School of Regional Design in Art and Economics)

専攻名

地域デザイン専攻 (Master Program of Regional Design in Art and Economics)

コース名

芸術デザインコース (Art and Design Course)

地域マネジメントコース (Regional Management Course)

学位名称

地域デザイン専攻 修士 (地域デザイン)

学位の英語名称

修士 (地域デザイン) : Master of Regional Design in Art and Economics

既設の学部、研究科との関係

地域デザイン研究科は、経済学部及び平成 28 年度に設置する芸術地域デザイン学部と接続する大学院教育課程です。

経済学部から本研究科への接続は、マネジメント及び経済の研究教育面での高度化に加え、本研究科が提供するアートマネジメント、ヘリテージマネジメントなど専門知識とスキルを獲得し、芸術分野を含む幅広いマネジメント能力を付加するものとなっています。

芸術地域デザイン学部からの接続は、芸術の創作やキュレイトイングなどのアートマネジメントの研究教育面での高度化という点に加え、本研究科が提供する専門的な経済分析や経営学の学問分野の専門知識とスキルを獲得し、芸術を経済活動へと繋げられる能力を付加するものとなっています。

地域デザイン研究科 (地域デザイン専攻) の養成する人材

「芸術」、「フィールドデザイン」、「経済・経営」の3つの専門分野が連携・協働することにより、それぞれの分野における専門的能力を有し、加えて芸術分野の提供する「創造力、表現力そして感性」、「自らの意思や意図を表現し伝達するためのコミュニケーションスキル」、社会科学の分野が提供する「社会やニーズの変化や動向を予測、分析する能力」そして「人々を通してあるべきことをより良く行い、実現するためのマネジメント能力」を兼ね備えた職業人として、地域の再生とイノベーションに貢献できる人材を養成します。

地域デザイン研究科で身につける高度な専門性

- ・ 分野を横断した調査研究能力をもち、リサーチ、フィールドワークによって地域の課題を掘り起こし、芸術表現だからこそ可能な地域社会へのアプローチを提示する能力
- ・ 分野を横断した調査研究能力をもち、アートマネジメントの手法によって、フィールドの潜在力を引き出し、地域を活性化する能力
- ・ 分野を横断した調査研究能力をもち、経済分析能力、経営手法、国際経済に関する知識によって、地域経済社会活動の革新を促進する能力
- ・ 以上のことを、地域を越えて、国内外の様々な場で行える能力

芸術デザインコースが目的とする人材養成と進路の見通し

芸術に関しての高度な専門知識と表現技能を修得し、それらを国際的に通用するレベルに発展させるとともに、マネジメントの能力とフィールドデザインの思考を身に付けることにより、幅広い視点から地域の文化芸術・産業の課題を見出し、芸術を通してその課題の解決ができる高度な専門的能力を持った人材を養成します。

芸術デザインコースの進路としては、まず、アート関連の企業 (デザイン、広告、映像等)、マスコ

ミ（芸術系出版社，TV局，新聞社事業部），自治体職員（芸術振興，観光，アートプロデュース等），都市プランナー，都市デザイナー，教育機関，博物館・美術館（シニアキュレーター）等が考えられます。さらに，リサーチメソッド等のスキル養成科目やアートマネジメント，地域創生とデータ分析といったアートとマネジメントの融合科目等を履修することにより，芸術的発想やスキルを地域創生につながることでできる職種へと選択肢は広がっていくものと考えられます。具体的には，自らの作品をつかい，フィールド（場）に合ったアートプロデュースをすることができるマルチアーティスト，マルチクリエイター，自治体において海外との文化の交流，海外からの観光客誘致，貿易等を担当する部署で働く人材，マスコミにおいて海外に文化芸術を発信するコンテンツデザイナー，ジャーナリスト，企業において，自らデザインを手がけ，商品開発を担当する人材，国際交流基金のような日本と海外の文化交流，知的交流を推進する団体でイベントのマネジメントやプロデュースに携わる人材などを想定しています。

地域マネジメントコースが目的とする人材養成と進路の見通し

経済・経営の高度な専門的知識の獲得によるマネジメントの能力とグローバル経済における市場の展開を理解し分析できる能力の修得に加え，芸術の表現の理解及びフィールドデザインの思考を身につけることにより，幅広い視点から地域経済と文化の課題の解決と国際的展開ができる高度な専門的能力を持つ人材（ブリッジ・パーソン）を養成します。

地域マネジメントコースの進路としては，企業（マーケティング，財務，企画，広報，CSR 部門），自治体（地域振興，文化財保護，観光等），NPO，教育機関，国内外の大学院への進学等が考えられます。

これまでも経済学研究科では経済学・経営学を学んだ修了生の進路は確保されていました。また，経済学研究科では，20年余りの間に，大学のグローバル化に伴い海外からの留学生が大きな柱の一つとなっていたことから，留学生は，修了後，日本企業に就職するだけでなく，母国に戻り，現地の企業（合弁企業を含む），行政機関，教育機関で活躍を見せようとする者も多く出ています。（例：インドネシア財務省官僚，中国上海思博職業技術学院教員など）。

地域デザイン研究科の地域マネジメントコースとしては，これまでの経済学研究科の進路に加えて，佐賀（日本）の自治体や企業と海外の販路をつなぐブリッジパーソンとしての職務に就けるよう支援し，修了生の進路の確保に努めていきます。

教育課程編成の考え方

地域デザイン研究科は，地域の文化と経済を総合的に発展させ，地域創生に主導的に携わる人材を養成するための研究科です。

主たる教育研究分野は，「芸術」「フィールドデザイン」「経済・経営」の3分野です。

本研究科の「芸術」の概念は，芸術の表現をもとに，それを他の2分野の考え方・手法を有効に活用することによって地域創生に生かしていくこと，すなわち，芸術表現を地域創生の資源とみなす考え方が基盤となっています。

また，「フィールドデザイン」とは，従来の自然環境的，あるいは工学的なフィールドデザインではなく，文理を融合させた，すなわち芸術，文化財保護，都市地理学，都市デザイン工学のそれぞれの知識とスキルをつかって，地域にあるさまざまな資源を活用し，地域の間（フィールド）をデザインしていく新しいフィールドデザインです。

一方、本研究科の「経済・経営」は、地域経済活動の活性化のためのイノベーションを導くために、従来の経済・経営の知識や手法を基盤として芸術デザイン（芸術、フィールドデザイン）分野の視点も加えて教育研究を行う「経済・経営」分野となります。

学生は、1専攻の中で、3つの分野のいずれかに属し、別々に研究をしていくのではなく、いずれかの分野を専門的に研究しながら、他の分野の知識や方法論を学び、視野を広げることで、企業や自治体などにおいて活躍できる能力と地域創生に対する独自の視点を得ることができます。

科目の配置とカリキュラムの概要

専攻での教育目的に対応させた共通科目、専門科目、修士論文指導科目という科目分類を定め体系的な科目構成にすること、また、修了要件32単位中10単位の共通科目を置くことにより、3つの分野の専門性と領域横断性の両方を担保しています。

カリキュラムの概要は表のようになります。

カリキュラムの概要			
地域デザイン研究科			
地域デザイン専攻			
芸術デザインコース		地域マネジメントコース	
共通科目 (必修6単位、選択必修4単位以上、合計10単位以上) [新しい専門的知識・スキルと 地域創生への多様な視点を与えるための科目]			
研究科間基礎科目(2単位以上) [研究科の教育目的を補強する基礎科目]			
専門科目 (登録した研究科目群から6単位以上、 それ以外の2つの科目群からそれぞれ2単位以上、 合計12単位以上) [専門を深化させるための科目群]			
芸術研究 科目群	地域研究 科目群	マネジメント 研究科目群	経済・経営 研究科目群
修士論文指導科目(必修8単位) [専門知識とスキルを統合し研究を通じて 課題解決能力を養うための科目]			
修了要件単位数 32単位以上			

共通科目(必修)の内容と目的

①「異文化コミュニケーション」(英語講義)

文化や言語を異とする複数の国や地域で複数の言語教授経験のあるネイティブスピーカー教員による英語による講義。教員と学生とのディスカッションを重視し、プレゼンテーション、フィールドワーク、インタビューの手法も学びます。英語のコミュニケーションスキルの修得とともに、異文化コミュニケーションの視点から、地域創生についての視点を培います。

②「リサーチメソッド」

専門性を高めるための基本的な準備を行うと同時に、異分野（芸術、フィールドデザイン、経済・経営）の方法論を学ぶことで新たな発想や思考を生み出す基礎を構築します。また、学外の実務家から、企業の倫理や、EUなどの国際基準の研究倫理も含んだリサーチエシックスについて学びます。これによって、国際的な調査研究活動に対応できる知識を修得することになります。

③「地域デザイン総合演習」

芸術デザインコースと地域マネジメントコースの学生が同時受講し、それぞれ専門分野での研究テーマに関する発表とその研究テーマに関連させた地域デザインについてのディスカッションを教員複数名と学生で行います。このことによって、コースを超えて、芸術分野、フィールドデザイン分野、経済・経営分野の3つの分野を専門とする学生と教員が、地域デザインという視点のもとで、自らの研究に他分野の考え方を活かすことができるようにします。

共通科目（選択必修）の内容と目的

①「地域創生とアート」

海外と日本におけるアートイベントの経験豊富な実務家教員による科目。日本の地域で行われてきた地域創生とアートを結びつける活動と日本の国外で行われているそのような活動を相対的に見る視点を養うことにより、地域創生に潜む普遍的な問題と個別の問題を見抜き、地域的特性にあったアートの活動が主導的に行えるようになる知識とスキルを修得します。

②「地域創生キュレーション」

アートプロジェクト・アートマネジメントの経験豊富な実務家出身教員による科目。フィールドに出て、アート・プロジェクトの企画力をつけるための理論と実践について学びます。

③「地域創生と経済」

地域経済における経済循環のメカニズムの理解と、地域資源である伝統工芸品や現代アートなどの創作活動のプロモーションによる地域活性化の可能性についての科目。

④「地域創生とデータ分析」

データに基づいて、地域の課題の発見と解決法を探究する能力を培うためにデータ分析を学ぶ科目。視覚デザインに強みをもつ芸術デザインの教員からのアドバイスを受けることによって情報発信能力を培うことも目的とします。

⑤「国際関係と地域創生」（英語講義）

国際間の歴史的事象を通して生成されたさまざまな文化財、史跡、フィールドの在り方を通し、現代の地域創生に必要なグローバルな視点と歴史的視点を培う科目。

⑥「やきものによる地域創生」

肥前陶磁器産業を取り巻く環境と状況を調査し取るべき方策を、産地や消費地の市場調査等の資料の分析、聞き取り調査等から市場のニーズをくみ取り使い手のニーズに対する科学技術からの対応についてディスカッションし、考える科目。

⑦「キュレーション特別研究Ⅰ」

博物館とダークツーリズムについて、文献購読、文献調査、実地調査をおこないダークツーリズムという概念を理解し、それについて意見を述べ議論を深め、博物館をダークツーリズムの視点から説明し、その内容について博物館の運営に関して理論的に理解を深める科目。

⑧「アートマネジメント・プロデュース特別研究Ⅰ」

アートマネジメント・プロデュースについて、テーマに沿って国内外の事例を取り上げ学生どうしでディスカッションを行い、アート作品やアートプロジェクト等について、それらの背後にある様々な仕組みや制度など、社会的な文脈を意識した上で吟味・批評する力を身につける科目。

⑨「ヘリテージマネジメント論」

史跡の調査・指定・管理・活用を題材に、ヘリテージのマネジメントに関する課題を方法論的、体系的に理解するとともに、他の文化財・ヘリテージとの相違点、共通点を理解し、他の文化財・ヘリテージのマネジメントへと問題を深める科目。

⑩「都市デザイン論」

都市デザインの資料に関する討議を通じて都市デザイン全般に関する基礎的知識を修得し、課題における取組みの中で都市の特徴を読み取る能力、都市が有する課題を発見する能力、課題解決に向けた提言を構想する能力を養う科目。

⑪「都市空間論」

都市空間に生起する諸事象に対して、都市地理学の研究視点・手法を用いてその内容と背景を学び、佐賀をはじめとした地方都市の中心市街地の現状と役割、将来像を考察する科目。

養成する人材像と対応する共通科目

① 分野を横断した調査研究能力をつけるための科目

「リサーチメソッド」「地域創生とデータ分析」「地域デザイン総合演習」

② 芸術・文化資源をつかって地域を活性化するための能力をつけるための科目

「地域創生とアート」「地域創生キュレーション」「やきものによる地域創生」「ヘリテージマネジメント論」

③ 地域経済社会活動のためのイノベーションを促進する能力をつけるための科目

「地域創生とデータ分析」「地域創生と経済」「都市デザイン論」「都市空間論」

④ 地域を越えて、国内外で地域創生に関わる能力をつけるための科目

「異文化コミュニケーション研究」（英語）「国際関係と地域創生」

専門科目の位置づけ

研究科の「専門科目」を、教育研究分野として「芸術」、フィールドデザイン、「経済・経営」に分類し開講することで、研究テーマを広い視点から考察できる知識と能力を養うことができるようにしています。専門科目は以下のような教育目的に沿って開設しています。

①「芸術」教育研究分野

ア) デザイン科目

場や人とかわりながらデザインの発想によってコトやモノの創造を行っていく研究を行うためにデザイン特別研究群を配置しています。

イ) 美術表現科目

環境や場やモノの潜在力を最大限に引き出しながら表現に高める研究を行い、美術の活動を実践する力を育成するために表現特別研究群を配置しています。

ウ) 素材技法表現科目

素材技法について熟知し、素材技法の特性から発想しながら表現へと高め、商品開発や地域資源を活用する知識や方法論について研究を深めるために、素材技法特別研究群を配置しています。

②「フィールドデザイン」教育研究分野

ア) シニアキュレイトイング・アートマネジメント科目

博物館や美術館において必要とされる専門的な知識と技能を身につけ、企画展示、調査・研究、そして教育普及に携わるだけの学芸員ではなく、経営についての高度な知識をもち、国内外の人と作品と市場をつなぐことのできる上級キュレーターを養成するためにシニアキュレイトイング・アートマネジメント科目を配置しています。(使用言語は、日本語、英語)

イ) 美術史・ヘリテージマネジメント科目

考古学と美術史の専門を深めるとともに、地域の歴史的、考古的、記憶的遺産を資源として活用する能力を身につけるため、美術史・ヘリテージマネジメント科目を配置しています。(使用言語は、日本語、英語)

ウ) 都市デザイン・都市空間科目

工学、地理学、芸術の方法論を融合させ、地域全体の空間デザインを実現できる能力を身につけるため都市デザイン・都市空間科目を配置しています。(使用言語は、日本語、英語)

③「経済・経営」教育研究分野

ア) 経営科目

経営の高度な専門的知識の獲得によるマネジメントの思考及び市場の展開を理解し分析できる能力を修得し、地域再生・地域産業の発展とそれを支える経営理論の展開を図るため、経営科目群を配置しています。(使用言語は、日本語、英語)

イ) 経済科目

経済の高度な専門的知識の獲得によってグローバル経済における市場の展開を理解し分析できる能力を修得し、地域再生・経済政策とそれを支える経済理論の展開を図るため、経済科目群を配置しています。(使用言語は、日本語、英語)

ウ) 会計科目

会計の高度な専門的知識の獲得によって地域再生や地域産業発展に重要な役割を果たす企業における財務・会計分析能力を修得し、地域企業の振興と地域の再生を支えるため、会計科目群を配置しています。(使用言語は、日本語、英語)

エ) 経済・経営情報科目

経済・経営情報に関する高度な専門的知識の獲得によって、地域の課題の解決と国際的展開において情報を収集、蓄積、分析、発信する能力を修得し、地域の再生と振興を支える情報分析の展開を図るため経済・経営情報科目群を配置しています。(使用言語は、日本語、英語)

オ) 法務科目

企業活動に関連する法律の高度な専門的知識の獲得によって、地域企業の法的課題の理解と解決ができる能力を修得し、地域経済の再生と振興を支える法務の展開を図るため法務科目群を配置しています。

以上のように研究科に教育研究分野ごとに科目群を配置したうえで、これらの専門科目を、学位授与の方針及び専攻の教育目的に照らして、コース毎の教育課程として編成するために、3つの研究教育分野の専門科目を「芸術研究科目群」「地域研究科目群」「マネジメント科目群」「経済・経営研究科目群」としてまとめた教育課程としています。

「芸術研究科目群」

芸術研究教育分野（Ⅰ群）の科目及びフィールドデザイン研究教育分野（Ⅱ群）の科目から構成され、芸術に関わる制作・理論・歴史を修得する科目群。

「地域研究科目群」

フィールドデザイン研究教育分野（Ⅱ群）及び経済・経営研究分野（Ⅲ群）の科目から構成され、地域の社会と経済に関わる歴史・分析手法を修得する科目群。

「マネジメント研究科目群」

フィールドデザイン研究教育分野（Ⅱ群）及び経済・経営研究分野（Ⅲ群）の科目から構成され、企業のマネジメントにとどまらずアートや文化遺産のマネジメントを修得する科目群。

「経済・経営研究科目群」

経済・経営研究教育分野（Ⅲ群）の科目から構成され、経済と経営の理論・分析手法および関連法務を修得する科目群。

専門科目のコースごとの構成

芸術デザインコースの専門科目は「芸術研究科目群」「地域研究科目群」「マネジメント研究科目群」で構成し、地域マネジメントコースの専門科目は「地域研究科目群」「マネジメント研究科目群」「経済・経営科目群」で構成しています。

芸術デザインコースの学生は専門とする研究分野に対応して「芸術研究科目群」「地域研究科目群」「マネジメント科目群」のうちひとつを選択し、登録します。登録した科目群から6単位上、その他の2つの科目群からそれぞれ2単位以上を修得することになります。

地域マネジメントコースの学生は専門とする研究分野に対応して「地域研究科目群」「マネジメント研究科目群」「経済・経営研究科目群」のうちひとつを選択し、登録します。登録した科目群から6単位上、その他の科目群から2単位以上を修得することになります。

このような教育科目群の構成および単位設定によって、専門とする研究教育分野内で単位取得が完結することなく、学生が「芸術」、「フィールドデザイン」、「経済・経営」の3分野の科目を研究目的に応じて履修し、指導教員のアドバイスに従い、専門研究を進めることができることが本研究科の特色です。

修士論文指導科目

専門分野での修士論文作成を通じて自律的に課題を発見する能力と課題解決のための研究力を培う科目として、「修士論文指導科目」を置き、特別演習Ⅰ、特別演習Ⅱ、課題研究Ⅰ、課題研究Ⅱを配置しています。1年次末に研究に関する報告会、2年次10月に修士論文の中間報告会を研究科の教員が参加して行います。

研究科間基礎科目

「大学院教育課程の質の向上及び各専攻の教育目的に沿った体系的な教育プログラム提供の一環として、大学院課程の基礎教養科目として研究科間共通科目を開設する」という佐賀大学大学院教育課程の方針により、研究科間基礎科目を設定し、2単位を必修としています。

地域デザイン専攻入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）

本研究科は、「芸術、フィールドデザイン、経済・経営を専門的・学際的に研究することにより、そ

れぞれの専門知識に加え、調査研究能力を身につけて、地域産業の発展、地域の歴史的・文化的資源の再生・活用、地方の再生とイノベーションに寄与する意欲のある人」を求めます。

① 芸術デザインコースのアドミッションポリシー

- ・地域が抱える問題に対して高い問題意識をもち、その解決や改善に芸術を通して立ち向かおうとする強い意欲のある人。
- ・芸術に対する幅広い知識や表現能力を有し、それらを国際的に通用するレベルに発展させ、国際的な視野に立って地域社会及び国際社会の発展に寄与したいと考える人。
- ・地域の伝統工芸や伝統産業が抱える問題の所在を鋭く察知し、その問題解決に新たな芸術的知識や芸術的スキルを駆使して当てることで、それらの再生や発展に主体的に貢献したいと考える人。
- ・芸術の理論や表現のみならず、マネジメントをはじめとする、諸分野の知識や方法論を獲得することにより、地域の人々の生活の質（QOL）の向上のために貢献したいと考える人。

② 地域マネジメントコースのアドミッションポリシー

- ・地域経済と企業経営活動の諸問題に対して、経営学と経済分析の視点から解決する能力を得ようという意欲を有し、企業や自治体において地域のイノベーションに貢献することを目指す人。
- ・海外への留学を視野に入れて学び、地域経済・文化の国際的展開へ橋渡しができる人材となることを目的とする日本人学生。
- ・日本企業の経営活動を含む日本経済に関心を持ち、日本で学んだことを活かして地域経済・文化の国際的展開へ橋渡しができる人材となることを目的とする留学生。
- ・日本における空間資源・文化資源などの地域資源の保護・活用を学び、母国での経済発展に活かすとともに各国の地域間の連携に貢献したいと考える留学生。
- ・地域の企業と自治体等で働くなかで見出した課題に取り組み解決していくための高度な経済・経営の知識を学び研究し、それらを活用することで地域経済の発展に貢献することを目的とする社会人。

取得可能な資格

地域デザイン研究科では、専修教員免許として次の免許の取得が可能です。

芸術デザインコース	： 中学校教諭専修免許状（美術）
	： 高等学校教諭専修免許状（美術）
	： 高等学校教諭専修免許状（工芸）
地域マネジメントコース	： 高等学校教諭専修免許状（商業）